

## 釧路地域リハビリテーション広域支援センター

目標：保健・医療・福祉・介護に係る人々が連携し、生活の場においてリハビリテーションを必要とする住民に対し、適切なサービスが提供されるよう、その支援体制を整備すること

### 活動

・総会（年1回開催）

・運営委員会（月1回開催）

歯科医師、看護師、薬剤師、介護支援専門員、保健所、作業療法士、理学療法士の各1名～3名で構成され、毎回活発な意見交換が行われている。補助金が昨年度で終了したことを受け、今年度前半は今後の運営のあり方が議論の中心であった。また、連携構築の第1歩として、運営委員会にて各団体持ち回りの勉強会を実施してきている。年度後半においては、研修会部会と地域連携部会の2部会制となり、それぞれの準備を進めている。研修会については、下記の通りであり、地域連携部会については、連携構築に向けて、まずは連携の実態調査のアンケートを作成し、関係機関への配布をしている段階である。

・研修会（年1回）

今年度は、来週の3月1日（日）に、「在宅でのリスク管理～見逃してはいけないサイン」のテーマで、市立釧路総合病院麻酔科医師の講演を予定（参加予定人数125名）。

・講師バンク（バンク登録31名）

補助金終了により、今年度より講師料などは依頼者負担となったが、今年度のこれまでの実績は3件となっている。

### 活動の問題点、困っている点

・地元医師会からは資金援助をいただいているが、運営委員として医師の参加があれば、連携構築がさらに進みやすいのではないかと考えている。